

シニアのパワーで
町をきれいに!

西当別 老人クラブ連合会



3つの老人クラブが合同で活動し、スウェーデン大通りの花壇の整備をはじめ、西当別のメイン通りをきれいにしている西当別老人クラブ連合会の会長 渡部昇さんにお話を聞きました。

町内会からの要請

連合会は当別太・ビトエ地区20人、獅子内・高岡地区21人、太美地区59人で合計100人の会員で活動しています。スウェーデン大通りの花植えを行うようになったのは、3年程前からです。もともと太美中央町内会でやっていた花植えですが、現役世代だけで行うことが難しくなってきたため、連合会にやってくれないかと要請がありました。初めは連合会の中でも賛否両論ありましたが、今こそ私たちのパワーを集めようと思い、この事業を受けることにしました。花植えの区間は石狩太美駅前から、南1号(道道 札幌当別線)までで、2年目までは道路の西側約20カ所でしたが、今年は太美東町内会からも話があり、道路の両側に花を植え、道路を華やかにすることができました。

来町者に良い印象を

今年の花植えは6月5日に行い、連合会の役員を含め22人が集まり、およそ3時間かけて植え終わりました。植えた花はマリーゴールドやペチュニア、ケイトウなど8種類もあるので、色合いなどを考えながら、バランスよく植えると全部で700株にもなりました。気温も暖かくなるこの時期に、毎年花植え作業を行っています。6月は夏至祭が開催されるので、町外からも多くの方が来られます。JRで来られる方のため、会場までの道すがらを少しでもきれいにし、当別に良い印象を持ってもらえればと考えています。この後の花壇の草取りや水やりなどの管理作業は、それほど時間がかかることでもないので、各町内会とも働きかけ、一緒に活動しようと思っています。

シニアパワーでまちづくり

西当別地区のメイン通りであるスウェーデン大通りをきれいにすることが、西当別地区全体への取り組みとなっていけばいいと思います。これからはシニアのパワーをどう活用するかということがまちづくりに大切だし、今年は道の駅もできるので、地元にいる我々にもできることはやっていきたいと思っています。



今年78歳になる渡部さんですが、農家の仕事も現役で、まだまだ元気いっぱい。パワーがみなぎっていました。(6月16日取材)